

地域通貨で、嵐山町をやさしく元気な町に。



地域通貨は、特定の地域だけで、利用できるお金です。

CO₂削減・環境保全・福祉ボランティア、町の公共施設の使用料・ゴミ袋購入などに活用する自治体も増えてきました。

1円=1ラン（地域通貨をランの単位と仮定）とすると

- ⑤ 生ゴミを1キログラム分、焼却しないで堆肥にするとごみの焼却が費33円減になります。
(H19年度はごみ焼却費1kg27円、可燃物運搬費1kg5.6円・人件費は含まないで計算)
- ⑥ 町は経費削減できたので、それを住民に還元します。単位はランと仮定します。生ゴミ6kgを焼却しないで堆肥にすると200ランの地域通貨の価値になるとします。
- ⑦ 生き生きふれあいプラザ「なごみ」使用料200円を200ランに換えると、なごみ使用料が払えます。生ゴミ6kgを堆肥にすると、なごみ1回分の使用料分くらいになります。
- ⑧ 交通安全パトロールのボランティアの謝礼を地域通貨で100ラン支払われるとします。
- ⑨ 公共交通100円=100ランとすると交通安全パトロール100ランで公共交通を利用できます。

嵐山町の資源ごみの売却益は平成19年度884万380円。

資源ごみ売却益を原資にして地域活動が活発になる制度を。



嵐山町は、全職員の3分の1が非正規職員なのです。

日本は、ILOのパート労働条約・同じ職種の正規社員とパート社員は時間給・社会保障を差別してはならないという条約に批准していません。この条約に批准していないので、非正規の低賃金・解雇・派遣切りを、行うことができます。自治体も企業も同じです。

嵐山町財政の健全化は、正規職員を減らし、非正規職員を増やすことで、進みました。行政改革と働く人の保障、相反する問題です。

公務員も短時間の正規職員をふやしてワークシェアリングは。

| | 職員人件費総額 | 給与 | 共済・退職金負担金 | 非正規雇用職員賃金など |
|-----|----------------------|--------------------------|------------|-----------------|
| H18 | 11億2055万円 職員数146人 | 8億3233万円 一人あたり767万5千円 | 2億8832万5千円 | 4016万7千円 56人 |
| H19 | 11億272万円 職員数142人 | 8億3017万 一人あたり776万5千円 | 2億7255万2千円 | 6528万5千円 76人 |

●毎年の昇給、高齢化、共済・退職金組合の負担増で、職員一人あたりの人件費は増加しています。

トーク嵐山第4回
テーマ

「嵐山町の医療の現状」
講師 中嶋秀雄
町民課長

場所 いきいきふれあいプラザ「なごみ」

日時 2月21日(土)
午後1時30分
～

3時30分
医療について話しませんか
ご意見を!